

Genius English Course I・II

「共感する力」を培いたい



前田由紀恵

Classroom dynamics という言葉を知ってその意識を持ち、生徒と interact する授業を目指して試行錯誤すること10年、素直で意欲的な生徒に恵まれ、ほぼイメージした通りの授業ができるようになった。「…についてはどう?」と問いかけると、生徒が答えや意見を大きな声の独り言としてその場でしゃべってくれる、その声を拾い集めながら授業を進めていく。言葉を学ぶ本来の意義を忘れずに、文字の世界を頭の中でいきいきと visualize してドラマの中に入り込み、心から泣き、笑い、怒り、喜び、悲しむ……そんな人間臭い仮想体験を生徒と共時的に味わいたい。驚きの事実には驚き、うまい描写に唸り、心の支えになりそうな名言を心に刻み込む、そんなことを目標としている私の授業で、*Genius I* を使った場合の simulation を以下に考えてみる。

●「声」を聞くことから「共感する力」へ

全体を通読して、*Genius* は concept がわかりやすく、向かう方向が明確で、底に流れている philosophy に共感できると感じた。構成が見事で、まず Lesson 1 で、現代社会の重要課題として、テクノロジー、環境、平和が設定される。鍵を握る global communication について、Lesson 2 でその概念を明確にする場面が設けられる。そして、夢を抱くこと、努力をすること、平和、国際協力、福祉……とテーマが連ねられていく。前の lesson の深め方が次の lesson の充実につながる予測される。また、英文の分量が多すぎず、極端に難解な英文もなく、素材が自己主張し

すぎないので、扱う側の創造意欲がかきたてられる。1年間というスパンでの展開を思い描きながら、それぞれの課のテーマに沿って思いのたけを語りながら、生徒にも語らせたい。そんな気持ちにさせられる。なかでも Lesson 4 (“Proud Panther”：困難に負けず勉強に励むゴニアの少女の話)に惹かれた。

私が自分の授業のモットーとしてしていることが Lesson 2 に書かれていた。“First, communicating well in another language begins with active and open listening. Listen carefully to others. (中略) Second, ask questions about the other person’s life, but also share information about yourself with others. **It’s a give and take.**”

take と give の間にある大切なこと、「共感する力」を培いたい。それには「声」を聞くことだと信じている。行間から聞こえてくる登場人物の心の声、その人が誰かに伝えた声・言葉、声に伴う表情、また、ある表現にこめられた筆者の声・メッセージ、また、同じ教材に触れて何をどう感じたかという仲間の声・感想、それらにこだわって授業を組み立てたい。各セクション初めの Points in Reading は概要をつかむための問いであり、脚注の FIND は精密な読みをするための問いである。それらとは別に、ここで授業を楽しみたい、と思う箇所についての問いかけを Lesson 4 に関して考えてみた。問いかけも答えも all English にこだわる必要はないと考える。英語と日本語の両方を使って考える訓練をして、次第に英語だけの世界に移行すればよい。

●授業を楽しむ「問いかけ」例

§1 ① It isn't 8:00 a.m. yet, but Finda has already been walking for three hours. She is on her way to school — nine kilometers from her home in Kindia, Guinea. (中略) The walk is tough, but at school today Finda is happy because she meets ② her best friend. Recently, this friend returned to school. She has been missing many of her classes because her family needed her help at home and so she had trouble getting to school.

問いかけ ① When you have been walking for three hours alone, how do you feel? (I feel very tired.などを期待) では、Findaは何を考えながらどんな気持ちで歩いているのでしょうか。これに関しては、ここだけではわからないので、また後で聞くことにします。心に留めておいてください。

② best friendという言葉を知るとどんな感じがしますか。思いつく語をどんどん言ってみてください (happy, trust, smile, chatなどを期待)。Findaの場合、そのbest friendにしばらく会えませんでした。その理由も考慮に入れながら、会えない時に心の中で願っていたことを、英語または日本語、できれば英語で表現してみよう。また、best friendが学校に帰ってきた日、Findaはどんな言葉をかけたでしょう。想像して英語にしてみよう。

§2 In the evening, Finda returns home along the same long road. She says that ③ the branches along the way “look like witches’ hands” and make her afraid. ④ She is always happy to see the first of the village huts. She sees her father, and he comes to meet her with a light. As usual, ⑤ he has been waiting at the edge of the village for her to arrive.

問いかけ ③木の枝がwitches’ handsのように見えるのはFindaの心理状態の反映だと思えます。帰り道Findaはどんな気持ちで歩いていただろう。英語または日本語、できれば英語で考えてみよう (It's so scary. I want to reach my village

as soon as possible.などを期待)。

④⑤村のhutが目に入ったらどんな気持ちができるのだろう。表情で、仕草で、言葉で表現してみてください。また、出迎えた父親はどんな表情でどんな言葉をFindaにかけるのでしょうか。色々な父親のパターンを想像しながら考えてみて。

§3 Her father, Papa Tolno, is a proud man. Now he is a rice farmer. When he was young, he fought in the Algerian War and had many experiences. He had been living in a village with no schools. (中略) He wants Finda to do better. He says that ⑥ education is a passport to discovery. If she does not study, he says, ⑦ she will spend her life like a “wounded panther.”

問いかけ ⑥具体的にどのようなことなのだろう。やさしい英語で説明を考えてください。When do you need a passport? What is a passport for? (We need it to go into a foreign country.などを期待) So, when you get education, what can you do? (We know a lot of new things.などを期待)

⑦ (黒板の両端に、雄々しい姿のpantherとa wounded pantherの絵を大きく描いておく。) それぞれのpantherを形容する言葉を言ってみてください (生徒が挙げる語を黒板にどんどん書いていく。proud, strong, leadership, respected, rule / sad, pain, sorry, unhappy, ashamed, lonelyなどを期待)。ではspend her life like a “wounded panther”とはどういうことですか、グループで考えてみてください。(§4については省略)

* * *

もちろん多くのヒントを与えながら、自分の考えも小出しにしながら、誘導していく。生徒がぼんやりと心の中で考えたことや感じたこと、ぱっと思いついてもそのままにしておくと消えてしまうことが、言葉を探ることによって、輪郭がはっきりしてきて、印象深く心の奥深くに入っていく。それを表情の変化に見ることが喜びである。

(まえだ ゆきえ・新潟県立三条高等学校教諭)